

メタリックな素材や角の丸い窓が  
昭和 40 年代当初の空気を今に伝える

---

## 御堂筋ダイビル



ステンレスの外装がメタリックな輝きを放つ御堂筋ダイビルは、1964年に現在のマツダの支社として建てられ、御堂筋に面したショールームには、当時最新のスポーツカーが展示されていた。デザインも角の丸い窓など乗り物を感じさせるが、設計者は高精度な工業製品としての乗り物を目標に、外壁をユニットに分割して工場で生産するなど、建築の工業化に取り組んだ。既に解体された新朝日ビルや建て替えが予定されている新阪急ビルなど、この時代に竹中工務店が数多く送り出した金属外装ビルの、今や大阪における代表的存在といえるだろう。現在はダイビルがテナントビルとして活用している。（高岡伸一）

旧 称：東洋工業大阪支社ビル  
所在地：大阪市中央区南久宝寺町 4-1-2  
建設年：1964 年  
構造・規模：SRC 造 8 階、地下 3 階  
設 計：竹中工務店